

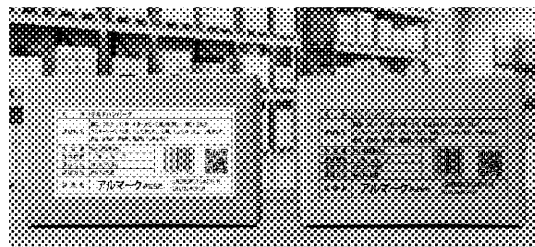
ラベル印刷直接印字

コスト削減 転換設備をリリース

アルマーク

アルマーク（大阪府吹田市、赤木康介社長）は、日本包装リース（東京都中央区）と共同で、製造現場など使われるラベル印刷を産業用インクジェットプ

リンターによる直接印字に切り替える設備導入スキーム「ラベルコスト転換リース」を13日に始めた。切り替えによるコスト削減額を明確に示し、リース活用で初期投資を抑えて導入を促すのが狙い。同スキームでは、アルマークが産業用インクジェットプリンターの選定、印字テスト、ライン構築、設置、メンテナンスを、日本包装リースがリースを担当する。製造現場では生産管理のために、商品名や製造年月日、ロット番号、バーコードなどを印刷したラベルが外装箱などに貼付さ



ラベル貼付（左）からインクジェットプリンターによる直接印字に切り替えを提案する

による外装箱などへの直接印字で大幅削減できることを訴求する。顧客には現在のラベルコストと、インクジェットプリンターに切り替えた場合のインク代とリース料をシミュレーションで比較し、コスト削減効果を提案していく。